

増大するソフトウェア開発への対応力強化 「ソフトウェア開発リソース調達支援」

ソフトウェア開発体制のあるべき姿の描出から、その体制構築のための実効性のあるリソース調達を支援します。

■ CASEの進展により、車両およびサーバにおける、IT・ソフトウェアの比率が急増

自動車業界におけるCASEの進展により、ソフトウェアへの依存が飛躍的に増大しています。

自動車の制御や様々なサービス提供のために、ソフトウェアの量が増えるだけでなく、質の面でも高度なソフトウェアが求められています。

CASEの実現には、AI（人工知能）やビッグデータ解析、高精細地図、緻密なフィードバック制御、使いやすいユーザインタフェース等が不可欠ですが、ここでは、高速プロセッサや特殊なセンサー情報、ならびに、高度な数学モデルを駆使した、技術難易度の高いソフトウェアを短期間で開発し続けることが求められるためです。

■ マルチリソースからの調達パスの構築が必要

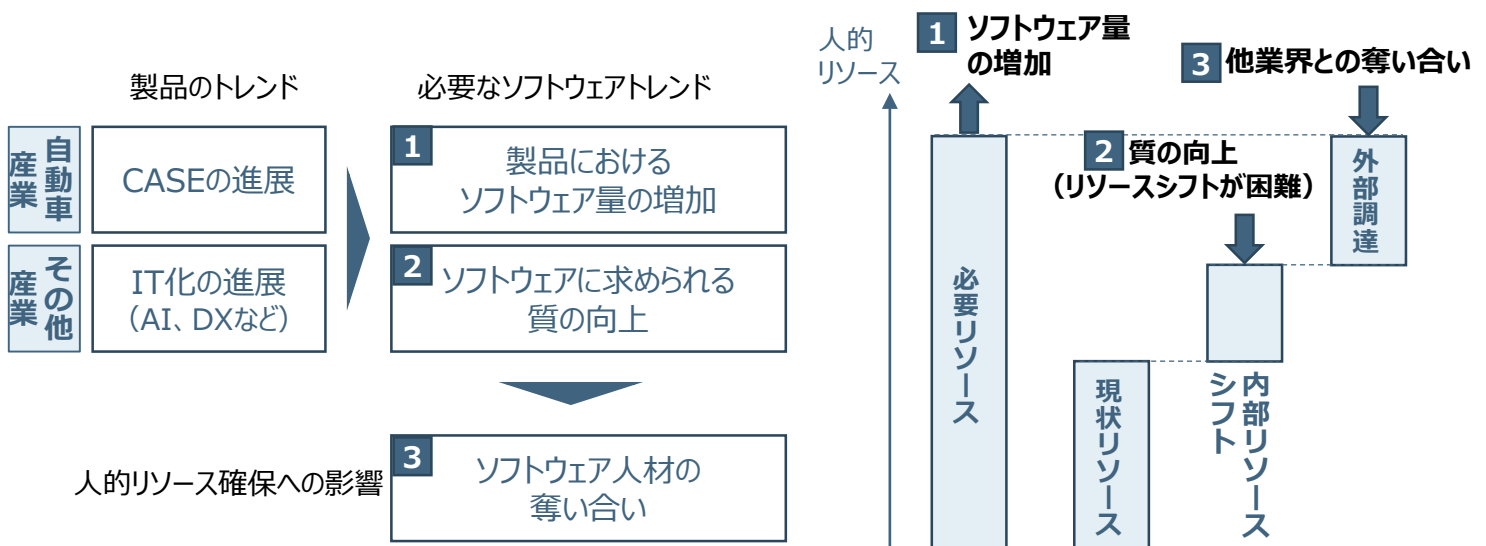
IT機器の高度化や普及、家電のインテリジェント化など、自動車に限らず社会の全ての領域でソフトウェアの高度化が進展しています。

そのため、高度なソフトウェアを開発できるエンジニアが不足し、業界を超えて奪い合いが発生しています。

これまで技術者は社内で育成してきましたが、技術革新が速いソフトウェア領域においては、育成にかかる時間がないだけでなく、社内にはもはや先端人材のおらず、育成を行うリーダー（指導者）すら不在という状況が見受けられます。

そのため、国内での人材調達は限界を迎えており、海外を含めた調達スキームの最適化、構築が必要となります。

■ 製品トレンドがもたらすソフトウェア人材不足の構造



【他業界との奪い合いの中で人材確保を進める必要がある。】

事業戦略に沿った人材を確保を目指すだけでなく、全体パフォーマンスを重視し、拒否反応の起きないスキームを構築します。

自動車業界およびソフトウェア産業の動向を踏まえた人的リソースを確保。

各社の現状と事業戦略上の将来像のギャップから必要なリソースを算出することは比較的容易です。しかし、人的リソース確保が厳しくなっているソフトウェア産業全体の中で必要なリソースを確保していくには、確実な目利きと、離脱しない状況の構築がより重要になります。

つまり、どのような能力を持った企業や人材を、どのような処遇で確保していくのか、金銭面以外の面でどのように定着を図るのかなどの観点が必要となります。

NRIはシステムインテグレータとしても国内有数の規模で事業を行っており、ソフトウェア開発企業や所属する人材の評価や今後の動向についての知見を長年に渡り蓄積しております。

これらの知見を活かし、多面的な施策を組み合わせることで人的リソースの確保と維持を図ります。

■ ケース: 事情に応じた距離感を設定。拒否反応をおさえつつ段階的に関係を深化

NRIはあるソフトウェア開発企業の自動車向け開発リソース確保の支援を行いました。

既存事業のポートフォリオと今後の動向から内部調整可能な人的リソースを洗い出した上で、外部調達が必要なリソースの能力別人数を試算しました。

これに基づき、候補企業を抽出し、個別にアプローチを開始するのですが、単なる数合わせに終わらぬよう、企業理念や社風も考慮した上で、最適な連携の形を組み立てていきます。

ここでは、現時点での連携の形を描くだけではなく、パイロットプロジェクトとなる試作発注から、常駐派遣、業務提携、資本提携などの段階を描き、各社ごとに適切な距離感をとりつつ、徐々に関係性を深めていけるスキームを構築しました。

■ 有望企業の抽出と提携等の交渉に至るまでのフロー（イメージ）

